

講義名	対)専門基礎演習(人)			授業形態	
担当教員	関 梅	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

2年生前期の「専門基礎演習」では、専門的な学修を進めるうえで必要となる基礎的な学修の方法を学びます。実施内容としては、「文献を読む」、「情報の収集、整理」、「グループで仲間の話を聞き議論する」、「プレゼンテーションを行う」など、決まったテーマに基づいて講義を行います。

この「専門基礎演習」では、観光における異文化理解及び外国語（特に中国語）コミュニケーションについて考えます。世界的に国境を超える観光は、グローバル時代になっている一つの大きな象徴となっています。日本での観光は外国人観光客の数が年々と増えている中、外国人にどのようにもてなすかについて考えるべきです。外国の文化を理解して、外国人とコミュニケーションを取ることの重要性を話し合いながらその理解を深めたいと考えています。

**到達目標**

演習のテーマにもとづいて、本や新聞記事による文章の読解、ディスカッションまたはグループワークなどの協働作業を行うことができるようになる。レポートの作成、発表（プレゼンテーション）などの力を身につけ、自分の考えを相手に伝えることができるようになります。

**提出課題**

毎回の授業内容に関わる感想文や小レポート、各自がまとめた学期末レポートを提出してもらいます。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

毎回の授業に書いてもらう感想文の内容に応じて、提出後に次の回の授業などで、教員は受講者の意見や感想をまとめて、新しいテーマを決めることもあります。

**評価の基準**

出席状況、提出課題、学期末レポートの発表、授業への取り組みの姿勢などを全て評価の対象とします。

**履修にあたっての注意・助言他**

出席回数によって評価の影響は大きいので十分理解してください。  
グループワークが多い教科です。他人と協力しながら作業を求めることも多いので理解してください。  
レポートを求める際に必ず提出期限を守ってください。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**


**その他**

<プリント資料>  
各回毎、プリント資料を配布します。  
毎回のプリント資料を保存してください。

**授業計画**

1回目の講義はオリエンテーションを行い、自己紹介をしてもらいます。それ以降3回ないし4回に渡って、一つのテーマについて進行します。テーマの選定は教員と受講者と話し合ってから決めます。講義の進度について受講者の理解度によって調整も行います。最終回はまとめのプレゼンテーションを行う予定です。

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習  
次回の授業範囲の準備学習として、テーマごとに調べたりする必要があります。また、毎回の授業の後に、その授業のテーマについて必要な資料を調べたりまとめたりする必要があります。（一回講義の前後の課題に取り組み時間は約2時間ずつ予定される）。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

人間社会学部観光学科では、観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てます。この科目では、演習のテーマにもとづいて、ディスカッション、グループワークなどの協働作業を行い、コミュニケーションの力を身につけます。また、文献の読解や収集、整理、さらにレポートの作成や発表などを通して、自分の考えを相手に伝える力を身につけます。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**